

---

# Natural

Knight bug

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Natural

### 【Nコード】

N9392X

### 【作者名】

Knight bug

### 【あらすじ】

頭脳明晰で黙っていれば美人のローズは、今日も頭のネジが3〜4本程抜けている天然娘。ローズの幼馴染の政宗は、唯我独尊を地で行く。そんな2人のお話です。

「ねえ。昔話って、ツッコミどころ満載よね」

何を言い出すかと思えば…。俺は、呆れた顔で、俺の隣で論じている幼馴染のローズを見る。ローズは、俺達が通うT大学を首席で入学した才女だ。だが、こいつは、ネジが3〜4本くらい抜けている所がある。つい最近まで、ATMの機械の中に人が入っていると真剣な顔で言ってきたり、デパ地下で、迷子になり館内放送で俺を呼び出したり。いつも、こいつの頭の中には、何が入っているのだろうか？とまってしまふ。

そんなこんなで、こいつがイキナリ言い出した言葉だが、これは歴としたレポートを書くための物だ。何でも、「昔話は、ツッコミどころが満載である」と言う事を証明する為にこんな事を言っているのだ。でも、こんなクダラナイ事をレポートに纏めて見せると言った教授も面白い。

ローズの言葉を聞き流して俺は、ごろりと草原の上に横になると、古文書の資料を顔の上に置いた。

「だつてさ〜。このおにぎりを穴に落としたおじいさんって、自分も穴に落ちるんでしょ？」

「ああ」

それは、おむすびごろりんの話か。

「どんだけおおきい穴に落ちたのよー！」

そこか、お前が突っ込むところは！

「後ね、気になるのよね〜」

「ん？」

「おじいさんが落とした、おにぎりの中身って、何だったんだろうね？」

「さあな」

ローズは、真面目な顔をして、もしかしてただの塩おむすびだったのかもね〜

などと言っている。どうして、塩おむすびなどと思っているんだろうかなんて思っていたら、「アラ、だって、具が入っていたら、転がっている間に、おむすびが割れちゃうでしょ？」と言って来た。

おい、それを大真面目でレポートに書いているお前の神経を俺は知りたい。

「ねえ…」

「なんだよ」

「どうして、穴に落ちたおじいさんって、何処も骨を折らなかったのかしらね？」

「はあ？」

俺は、顔に乗せていた古文書の本を退けると、ゆっくりと起き上が

った。

「で、ローズ。今度は、おじいさんの身体能力に目を付けたのか？  
にしても、普通 昔話でおじいさんが怪我をしてしまったら困る  
だろうが」

それを聞いたローズは、うーんと考えていた。

「普通なら、大腿骨を折ったりするのに、昔の人は丈夫だったのよ  
ね。きつと！」

ローズは、そう自分に言い聞かせているようだった。

こうなったら、口を挟む方が、馬鹿を見る。政宗は、ローズの膝の  
上から分厚いバインダーと本を退けると、自分の頭をローズの膝の  
上に乗せた。今日は、風が気持ちいい。

「どうしてどうしてって、ローズ。お前は、赤ずきんか？」

つい眠たくて言ってしまったこの言葉を俺は抑えることができな  
かった。その後、俺は笑いすぎて腹筋が痛くなった。

「それに、赤ずきんだって、オオカミがお婆さんの洋服を来てるの  
よ。なんで『どうやってそのボタンをとめたのよ？』って突っ込ま  
なかったのかしらね」

「……………」

「それと極めつけが、どうしておばあさんの手は大きいのか、  
どうして耳は大きいのか、最後は口の事も聞いて来るじゃない  
。あれって、やっぱり赤ずきんってさ……」

「ん？」

なんだか、また変な事を言うぞ、絶対そうだ！そう思っていたら、やはり言っただけ来た。

「目が悪いのよ！」

真剣な顔で言っただけ来るローズに、俺は呆れながらも、ローズの手を引っ張ると、「どうしてお前は…」そう言いかけて、ローズの顔を引き寄せた。

「ローズ…」

「政宗！あなたがそんな呼び方をするから、みんなにまでローズとか、ローズ姫とか、言われるのよ。嫌になっちゃう」

「黒原って、苗字なんだから、良いだろ？」

唇を尖らせながら言う、ローズの可愛い唇を政宗は、それで包むように食った。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9392x/>

---

Natural

2011年10月26日06時35分発行